

つばさ 翼

No.87

発行日 令和7年7月

尾道市立総合医療センター
公立みつぎ総合病院

〒722-0393

広島県尾道市御調町124番地

TEL 0848-76-1111 (代表)

FAX 0848-76-1112

<http://www.mitsugibyoin.com>

地域の皆さまに信頼される質の高い看護を目指して

このたび、公立みつぎ総合病院副院長兼看護部長を拝命いたしました。

今年2025年は、団塊の世代が全員75歳以上となる年で、これから先の2040年にかけて、85歳以上の人口の急増と高齢者単独世帯や夫婦のみの世帯の増加が見込まれています。超高齢社会に突入した現在、様々な社会問題に対する重要な政策のひとつに「地域包括ケアシステムの構築」があります。地域包括ケアシステムは、要介護状態になっても住み慣れた場所で自分らしい暮らしを最後まで送られるように地域が一体となり支援する仕組みです。そしてこれは、地域の皆さまが安心して暮らせる町づくりには欠かせないものであり、当院の理念でもあります。

わたしは、当院の看護師には、地域包括ケアシステムで当院が果たす役割を認識しながら、患者さまに寄り添って心のこもった看護を実践してほしいと思っています。その実現のためには、人材育成が重要です。当院看護部では「看護師としての専門性を高め質の高い看護を提供すること」を目標とし、段階的にステップアップしていく教育体制を整え、職員の成長を支援しています。さらに、専門性の高い資格を取得するための支援体制も整え、昨年度も2名が認定看護師研修を修了しました。また、急性期から回復期、在宅医療まで幅広い機能を持つ当院では、様々な部署で経験を重ねることができます。それを強みとして生かし、ジェネラリスト看護師(どのような対象者に対してもその場に応じた知識・技術・能力を発揮できる者)の育成に努めてまいります。

近年、様々な分野でAIが活用されてきているという話題を耳にします。看護の分野でもAIの活用によって効率化できる作業はありますが、看護師の共感力やコミュニケーション能力、状況に応じた臨機応変な判断力といったものは、AIが代替することは難しいといわれています。患者さまの痛みや不安を理解して寄り添ったり、患者さま一人ひとりの状況に適したケアを提供したりといった看護師だからこそ気付けることやできること、これが看護師としてのやりがいに通じるのではないのでしょうか。職員一人ひとりがやりがいを感じ、いきいきと働くことができる、そして風通しの良い働きやすい職場づくりにも力を注いでいきたいと思っております。

今後、地域の皆さまに信頼される質の高い継続看護を目指して尽力してまいりますので、よろしくお願いいたします。



副院長兼看護部長
室谷 伸子



医療最前線

人間ドックや健診はがんや生活習慣病の早期発見や予防医療の柱として、高度な検査技術と個別化されたサービスで進化を続けています。

そこで、人間ドックを受診しようと思った場合、何を決め手に病院やクリニックを探したら良いのでしょうか？

インターネットでの口コミやオススメを見て決める方も多いと思いますが、今回は「いい人間ドック」のポイント日本人間ドック・予防医療学会のホームページを参考にして、ご紹介したいと思います。

日本人間ドック・予防医療学会が考える人間ドックのポイント

日本人間ドック・予防医療学会は「人々が安心して受けていただける人間ドック」とはどういうものなのか、以下の5つのポイントを挙げています。

必要な検査が行われている

人間ドックの基本です。学会の定める検査がきちんと行われているか「足りない検査」「必要だができない検査」がないことは重要です。

また人間ドックの場合、通常健康診断などと比較して検査の項目も多く、より詳しく身体の状態を調べることができます。

検査は安全で正確である

これは人間ドック以前に医療機関としての基本といえます。人間ドックには採血のほかにも内視鏡検査などの「しんどい検査」がありますが、これらを安全かつ正確に施行するように努力し心がけています。

医師から検査結果の説明がある

健診当日に医師から検査結果の説明を受けられることが大切です。

公立みつぎ総合病院では、健診当日にすべての受診者に健診結果を項目ごとに、画像も含めて医師によるわかりやすい結果説明を行っております。最終的な結果判定につきましては、複数の医師で確認を行いますので、後日送付します結果報告書をご確認ください。

必要に応じて保健指導(生活のアドバイス)がある

「鉄は熱いうちに打て」と言いますが、人間ドックの検査の結果を聞き健康への意識が高まっている当日のうちに、受診者の皆さまそれぞれに必要な生活指導や食事、運動のアドバイスを行うことが、生活習慣改善への第一歩につながります。

特に公立みつぎ総合病院では受診していただいた方全員に、保健師によるきめ細かな保健指導を行っています。健康に関する日頃の疑問などございましたら、お気軽にご相談ください。

「受けて終わり」ではない、受けた後のフォローがある

人間ドックを受診したことで、治療の必要な病気が見つかったり、生活の改善などの必要性が指摘されたりした場合、かかりつけ医への受診や、当院での精密検査、治療の開始などのフォローアップが重要です。

No.64

いい人間ドックとは



健康管理部長 尾畑 昇悟

人間ドック認定施設について

いくら現代が情報社会であり、それぞれの施設の情報が手に入るといっても、一般の皆さまがこれらのポイントをチェックするのは難しいのかもしれませんが。

そこで、人間ドックの品質を保ち全体の質の向上を図る目的で、日本人間ドック・予防医療学会では申請のあった健診施設を審査して「機能評価認定施設」として公表しています。

審査する項目は、施設の体制、受診者の満足と安全に関するもの、人間ドックの質など114項目にわたります。書類審査、認定委員会が実際に施設を訪問して現場を評価し、認定を行います。

認定施設には認定証や認定プレートが掲げられており、人間ドック・予防医療学会のホームページからも検索することができます。

公立みつぎ総合病院では平成18(2006)年より日本人間ドック・予防医療学会認定施設として、高品質な人間ドックの提供に努めています。



保健指導実施認定施設について

日本人間ドック・予防医療学会では上記の機能評価認定を取得し、なおかつ保健指導に関する一定の基準を満たした優良施設を「保健指導実施認定施設」として認定しており、公立みつぎ総合病院もその一員として皆さまの健康維持、生活習慣を改善するお手伝いを行っています。



医師による内科診察・結果説明



保健師による保健指導





人間ドックを受診しましょう!

当院の人間ドックでは、皆さまの健康を維持・増進し発病を予防するとともに、病気の早期発見・早期治療を目指して、総合的な健康支援を行っています。

人間ドックは日帰りドックと1泊2日ドックの基本検査項目に加え、脳ドックなど各種のオプション検査を用意しています。

受診日当日に医師による健診結果の説明と保健師による保健指導を全員に実施しています。また、健診後のフォローで継続的な関わりを持たせていただいています。

健康で充実した日々を過ごしていただくために、

年に一度は人間ドックを受診して健康管理にお役立てください。皆さまの満足と安心を大切に、スタッフ一同笑顔でお待ちしています。



受付・ラウンジ

●受診コース一覧

コース	健診曜日	所要時間	昼食	料金(税込)
日帰りドック	月～金	午前8時20分～午後2時頃まで	あり	36,300円
1泊2日ドック	月・木	午前8時20分～翌日の午後1時頃まで	あり	59,400円
脳ドック	水・金	午後1時～午後3時頃まで	—	34,100円
日帰り+脳ドック*	月～金	午前8時20分～午後2時頃まで	あり	60,500円

- ・上記の健診料金は、全額自己負担で受診した場合の料金です。 ※はセット料金です。
- ・お申し込みの団体(保険者や事業所)によっては、検査内容が一部異なる場合があります。健診費用や助成(補助)についても、お申し込みの団体にお問い合わせください。
- ・1泊2日コースの宿泊料金(夕食含む)、および2日目の朝食(軽食)は健診料金に含まれています。
- ・その他各種オプション検査をご用意しています。お気軽にお問い合わせください。
- 発熱があるなど、体調不良が認められる方は、後日、体調が回復してからの受診をお願いしています。
- 来院時には、マスクの着用にご協力をお願いします。

●ご予約について

2階人間ドック健診受付でご予約を受け付けております。検査内容によっては、ご希望の日程でお受けできない場合がありますので、早目のご予約をお願いします(電話予約可)。受診日が決まると、人間ドックの説明資料や問診票、検便容器等をご自宅に郵送します。



脳ドック



上部消化管X線検査



日帰りドック・1泊2日ドックの昼食

● 公立みつぎ総合病院 ●

人間ドック理念

私たちは当病院の基本理念を踏まえ、
安心できる良質の包括的な健康支援を通じて、地域社会に貢献します。

人間ドック基本方針

1. 疾病の予防と早期発見・早期治療をめざして、総合的な健康支援に貢献します。
2. 自己研鑽に励み、高い知識と技術を習得し、健診の精度・質の向上を実現します。
3. 健康長寿に向けた生活習慣改善を支援するため、全力を尽くします。
4. 受診者の皆様の満足と安心を得られるよう、心の通った継続的なサービスを提供します。
5. 皆様の人権を尊重し、個人情報の保護に十分配慮します。

公立みつぎ総合病院は「人間ドック健診施設機能評価認定施設」 および「日本人間ドック学会保健指導実施認定施設」です。

当院では受診者の皆さまが安心して健診を受けられるよう、平成18(2006)年1月16日に「人間ドック健診施設機能評価」の初回認定を受けました。その後、5年毎に書面・訪問調査により評価が行われ認定更新しています。現在3回の更新を受けています。今年度は4回目の更新認定を受ける年になっています。引き続き評価認定の取得を目指し努力する所存でございます。

～人間ドック健診施設機能評価とは～

人間ドックを行っている医療・健診施設を対象に、健診施設の質の改善を促進するため全114項目の第三者的評価を行う事業です。主な内容として「理念達成に向けた組織運営」「良質な健診の実践と事後管理」「質向上の取り組みと情報提供」があげられます。

評価基準はどの項目も、受診者の皆さまが安心して質の高い人間ドックを受けられるかどうかに関心を置き、専門教育を受けた調査員が実地調査を行い、その結果をもとに人間ドック健診施設機能評価委員会で判定しております。加えて、日本病院会役員会で承認を得ています。

認定証はこれらの調査項目において、日本人間ドック・予防医療学会が定めた基準をすべてクリアしたことを証明するものです。

人間ドック・健診の
ご予約、お問い合わせ

公立みつぎ総合病院 人間ドック健診受付
TEL 0848-76-1111(代)
(予約受付時間：平日10:00～16:00)



特別養護老人ホーム「ふれあい」

特別養護老人ホーム「ふれあい」では、コロナ禍により休止していた行事も少しずつ再開できるようになり、入所者さまとカラオケや詩吟、俳句の会、生け花など少人数で集まって楽しむグループ活動を行っています。

2月には綾目神楽保存会による「御調神楽」を舞っていただき、その迫力を味わいました。入所者さまからも「すごくよかった」「久しぶりに神楽を観て元気がでました」と感想をいただき、賑やかなひと時を過ごすことができました。

そして4月には外出の機会が少ない中、少しでも季節の移り変わりを感じていただくために、施設の庭でお花見を行いました。暖かく、参加された入所者さまは、「きれいじゃったね」「施設の中から見る桜もきれいじゃけど、やっぱり外の空気を感じながら見る桜が良いね」と、にこやかに話

されていました。

これからも四季の移り変わりを感じていただけるような行事を考えながら、「楽しみのある施設生活」を送っていただけるよう、入所者さまに寄り添ったサービスの提供を目指します。



介護老人保健施設「みつぎの苑」デイケア

通所リハビリテーション(通称：デイケア)とは、日帰りで、リハビリテーションを中心に、入浴やお食事、レクリエーションや行事等、日常生活プログラムにご参加いただくサービスです。

デイケアでは、季節にちなんだ行事を実施したいと考え、4月に施設敷地内に咲く桜を見に行きました。写真の日は天気も良く、満開の桜を見ることができました。「すごく綺麗」「やっぱり外に出て、直接見れるのはいいね」「ここに咲いてい

る桜は初めて見た」と、皆さまとても良い笑顔で話されていました。音楽療法士による『さくらさくら』のフルート演奏に合わせて、歌を口ずさまれたり、手拍子をされ、楽しいひと時を過ごすことができました。

これからも、リハビリテーションやレクリエーションを通して、楽しく体力の維持向上を図り、可能な限り在宅での生活が送れるよう、職員一同支援してまいります。また、「デイケアを利用し

てよかった」と心から思っていただけよう、利用者さまの思いに寄り添ったケアを提供してまいります。



職員の紹介

公立みつぎ総合病院に入職して6回目の春を迎えました。回復期リハビリテーション病棟7Bで看護をさせていただいております。

7B病棟では胸腰椎圧迫骨折や下肢骨折術後の患者さまが多く入院されていますが、本年度は脳外科疾患を抱えておられる患者さまの入院も増えています。より専門性の高い看護が提供できるよう努力していきたいと思っております。

異業種から転職し、45歳で看護学校に入学。「生まれ育った地域に貢献したい」という思いで看護の道を志し、その道のりでは、私のわがままや挑戦に付き合ってくれた家族の支えがあってこそ今があり、感謝しています。現在53歳、看護師6年目として、信頼される心のこもった看護を提供できるよう、これからも精進してまいります。



看護師
どい まさひろ
土井 将裕

手術室に配属されてから2年が経過しました。病棟から異動になった当初は病棟とは全く違う業務内容に戸惑うことが多く、中材業務や手術業務、たくさんの器材を1から覚えることから始まり何度も心が折れそうになりました。しかし先輩方が一つひとつ丁寧に教えてくださり、間違えながらも少しずつできることも増え業務に慣れていくことができました。

器械出しや外回り看護師が手術の流れを理解し、先のことを予測し準備したりすることで円滑に手術を行うことができると思うので、まだ未熟ですが日々自分なりに考え業務にあたっています。

これからも初心を忘れず、一つひとつの業務を丁寧に正確にこなせるよう頑張りたいと思います。



看護師
たかはし なつみ
高橋 菜摘

公立みつぎ総合病院に事務職員として入職し、介護老人保健施設「みつぎの苑」に勤務して3年目となります。

みつぎの苑では介護保険請求や窓口業務を行っています。窓口業務では、「いつも明るく、元気に」をモットーに、皆さまに笑顔になっていただけるよう心がけております。

まだまだ知識・経験が浅く、至らぬ点多いですが、利用者さまやご家族により良いサービスを提供できるよう、先輩方の指導のもと多職種との連携を図りながら、日々精進してまいります。よろしくお願いたします。



主事
はしもと のぞみ
橋本 望海



公立みつぎ総合病院健康管理部の事務職員として入職し3年目になりました。

各種健診業務を担っている部署であり、私はその中でも主に人間ドックを担当しております。受健者の方の健診データ入力や結果表作成、結果発送業務や各団体への請求業務を行っています。入職当初は業務内容を覚えることに必死で日々の業務をこなすことで精一杯でしたが、先輩方のご指導により、今では少しずつ周りを見ながらゆとりをもって業務ができています。

これからも受健者の皆さまに安心安全な健診を受けていただけるよう努めてまいります。よろしくお願いたします。



主事
よどがわ ゆい
淀川 佑惟



訪問看護ステーション「みつぎ」

～24時間・365日安心を支える
訪問看護サービス～

訪問看護ステーション「みつぎ」では、看護師・保健師・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士などの専門職が医師の指示にもとづき、24時間対応体制をとり、自宅はもとよりサービス付き高齢者住宅・グループホームなどにも訪問しています。

訪問看護内容

- 1 医師の指示による点滴、カテーテル管理(胃ろうなど)・インスリン注射の管理など
- 2 身体清拭・洗髪・入浴介助・排泄の介助・床ずれ予防や処置・薬の管理指導などの療養生活上の看護
- 3 人工呼吸器・在宅酸素など医療機器管理
- 4 小児や精神疾患・認知症などの看護
- 5 がん・難病など施設や緩和ケア病棟などとの連携による終末期ケア(在宅での看取り)
- 6 拘縮予防や歩行、嚥下などの機能練習、在宅でのリハビリテーションなど

また、医療ニーズをかかえて退院される利用者さま及びそのご家族に向けても、病院スタッフ・地域包括ケア連携室・ケアマネジャーなど多職種・多機関などと連携して相談や訪問を行っています。小児から高齢者まで、安心して住み慣れた地域で生活できるよう、支援させていただきます。ぜひご相談ください。



訪問看護スタッフ

●問い合わせ先 訪問看護ステーション「みつぎ」 TEL 0848-76-2811

公立みつぎ総合病院 ホームヘルパーステーション

ホームヘルパーステーションは、介護保険の訪問介護と介護予防訪問サービスを提供するとともに、障害福祉サービスである居宅サービスも提供しています。

訪問介護は、利用者さまの「生活の支援」であり、利用者さまはもとより介護者の介護量軽減を図り、可能な限り居宅において自立した生活を営むことができるよう、多職種との連携を図り、利用者さまのニーズに沿い、支援を行っています。

令和6年度新規事業として、尾道市子育て世帯訪問支援事業を受託しています。



訪問介護スタッフ

●問い合わせ先 御調保健福祉センター内 TEL 0848-76-2235

ご意見、ご感想をお聞かせください

お問い合わせ先：地域包括ケア連携室 TEL 0848-77-0955 FAX 0848-77-0956
E-mail: tiiki@mitsugibyoin.com ホームページは「みつぎ病院」で検索
発行：尾道市立総合医療センター 公立みつぎ総合病院 広報誌編集委員会

